

東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってききましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



発生日時
平成23年3月11日(金)
14時46分頃

震央地名
三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.8度)
牡鹿半島の東約 130km

震源の深さ **約24km**

最大震度 **震度7** (栗原市) マグニチュード **M9.0**

被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

(1) 人的被害

死者	10,427人
行方不明者	1,302人

死者のうち856人が関連死
全国の被害者総数の約6割に相当

(2) 住家被害

全壊	85,259棟
半壊	152,875棟

全国の被害総数の約6割に相当

(3) 避難の状況

平成23年12月30日
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(3/14)
1,183施設(35市町村)
320,885人

応急仮設住宅入居者	49,376人
民間賃貸借上住宅入居者	54,639人
県外避難者	8,531人

(4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	
停電	1,545,494戸
給水支障	35市町村
ガス供給支障	13市町

(5) 浸水面積 **327km²**

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県合計の浸水面積561km²の約6割、東京都23区の面積の半分以上に相当

(6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積	56km ²
-----------	-------------------

震災後増加割合3.4倍

(7) 被害額の概要

交通関係	103	鉄道、バス、離島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	1,668	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	510	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5兆1,274	
民間施設など	9,912	工業関係、商業関係、自動車・船舶など
農林水産関係	1兆2,952	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1兆2,606	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,026	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	69	
その他の公共施設など	771	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9兆1,891億円	

被災直後と2年目の県内各地

震災の影響が大きく残る沿岸地域

<p>気仙沼市内 左遠方に小さく見えるのは鹿折唐桑駅付近に流された船</p>		
<p>南三陸町の防災庁舎周辺</p>		
<p>石巻市門脇町周辺</p>		
<p>女川町中心部 中央に見えるのは津波で横転したビル</p>		
<p>名取市関上 中央に見える小高い丘は日和山</p>		
<p>亶理町荒浜 右遠方に見える建物はわたり温泉島の海</p>		

※(1)、(2)は平成25年2月28日、(3)は平成25年3月1日、(7)は平成25年2月12日時点の情報です。
※(5)東京都23区の面積は621.98平方キロメートル

被災状況